

広報



# きたやま

4月号

2014  
No.223

春  
解禁!

広報きたやま4月号～主な内容～

平成26年度施政方針・予算説明 P2~8

村のできごと P9

北山村での日々(駐在所 玉置さん) P10

お知らせ P11・12

防災情報通信 P13

健康講座 P14



平成26年度の

# 施政方針

北山村長 奥田 貢

(村議会3月定例会要旨)



段のご協力とご尽力をお願い申し上げる次第であります。

## 2 消防・救急体制・防災について

住民の安全・安心を守る基本は、消防・救急体制・防災の充実整備であります。

これから起ころうであろう南海トラフに起因する大地震の発生や異常気象等に起因する集中豪雨等に対する迅速な対応が求められています。

24年度に調査を行いました避難場所の安全確認につきましては、その結果を受けて必要となる対策等（法面補強、急傾斜対策等の土砂崩壊対策）について、去る1月10日に和歌山県知事に議会共々要望を行つたところであります。

その後、和歌山県当局からは、要望箇所についてプライオリティーを付けて事業実施に取り組んで行くとの連絡を受けており、当面は、七色観音谷の砂防堰堤、役場横谷の砂防堰堤、大沼役場へ大沼中地区の急傾斜事業に取り組んでいくとの情報を得ていろところであります。

今後とも、事業の推進に取り組んで参りますので皆様方のご支援をお願い申し上げます。

村内の防災道路につきましては、下尾井地区の中道につきましては工事が完成。竹原の

寺の下の防災道路につきましては平成25年度に着手し完成の予定であります。

残る地区内の未整備区間につきましては、

各区とも調整を行い順次着手して参りたいと考えております。

着任以来約1年を経過いたしましたが、宮本先生は住民の方々の信望も厚くしっかりと診療に取り組んで頂いております。北山村の村民の方々が安心して安全に暮らすことができる地域となるよう、今後とも特

## 3 過疎対策・定住促進について

高齢化率48.3%の超高齢化・少子化を迎えた北山村にとりましては、今後の北山村の存続に関わる大きな課題であります。

過疎対策と若者定住は表裏一体の関係であり総合的な対策を講ずる必要があります。北山村におきましても延長された過疎法の活用を図りつつ、過疎対策・若者定住促進等について、平成25年度施策に引き続き取り組んで参ります。

北山村におきましても、過疎化や高齢化の進展に伴い買い物難民の増大等に対処するため、平成25年度から、灯油配達、プロパンガス配達、おくどろ温泉売店のコンビニ化、郵便局を活用した買い物支援事業に取り組んで

救急消防体制につきましては、平成27年の国体に合わせて奥瀬道路Ⅱ期区間が完成し供用することから、北山村を取り巻く交通の流れが大きく変化すると考えられます。このような観点から、救急消防の広域化又は一部事務組合化あるいは部分的連携等のあらゆる分野を視野に新宮市消防との調整に取り組んで参りたいと考えているところであります。

結果はともあれ、幅広く可能性を探つて参りたいと考えております。

また、各地区における消防力向上の観点から、消化器の各戸配布及び各区に配備する防災対策用品についても充実をはかり、防災力の向上に取り組んで参ります。

参りました。

特に、郵便局とコンビニによる買物支援事業につきましては、今年3月まで試行どし結果により、今後の方針を判断するとしていたところありますが、現在の状況は、利用登録者（郵便局）23名、これまでの利用者実績は5名となりております。

利用者は少数というところであります。登録者は23名もあり、必要時には利用したいという人が多くいると判断されること、また、少數でも利用者がいることから、平成26年度以降も高齢者の福祉対策の一環として継続して参ります。

## 4 学校教育・社会教育について

地域の将来を担う子供たちは地域の宝であります。

この子供達の教育をいかに充実させ、将来に向けて大きく成長させるためにどうあるべきかを基本理念として、種々の施策を実施して参りました。

平成26年度におきましても、引き続き更なる向上を目指し、新たな支援策をも含めて検討して参りたいと考えております。

また、昨年度から取り組んでいる「きのくに学力向上総合支援」、「いじめ対策総合推進」、「わかやま学校・地域防災力アップ」の事業を更に推進し、教育行政の向上に努めて参ります。

特に最近課題とされている学校のいじめ問題につきましては、北山村はどうかく他地域では大きな問題となつておらず、今後とも未然の防止策をも含めて、しっかりと対応して参ります。

また、平成27年に開催される「わかやま国体」に向けて、昨年度設立されました「北山村実行委員会」も国体開催に向けて実務的な活動に取り組んで参ります。

平成26年には、プレ国体として北山川でカヌー大会が開催されますので、皆様のご協力ををお願い申し上げる次第であります。

また、教育委員会といたしまして、平成25年2月6日に設立された「南紀熊野ジオパーク推進協議会」をうけて、地域のジオ資源を活用した教育と観光などが連携した新たな取り組みを行つて参りますので皆様のご協力をお願い申し上げます。

## 5 地場産業・地域振興等

### 地域活性化について

地場産業をはじめとして地域の活性化については、地域が一体となつて取り組んで行くことが重要であります。

今後とも一層のご支援を頂きますようお願いを申し上げます。

### ① おくとろ温泉について

今後の課題は、収入としては、年間で100,000千円程度を確保することは努力次第で可能と判断されます。が、歳出については、運営体制を含めて専門的立場からの経営診断・経営分析等も必要であると考えており、今後さらに検討を進めて参ります。

しかし、おくとろ温泉施設は、北山村にとっては欠かすことのできない必要な観光等の中核施設であります。

今後とも、皆様のご理解とご支援をお願い申し上げる次第であります。

### ② じゃばら事業について

平成25年の「じゃばら」の北山村への果実入出は約99,200千円となつており、収支差引約3,100千円程度の赤字となつてゐる状況であります。（県補助金を入れると収支は±0）

今後2～3月の経営状態は、過去の例から判断して閑散期にあることから赤字額が約1,000千円～3,000千円程度は増加するものと考えられるところであります。

この収支は純然たる現場体制（役場職員1名を除外した）での温泉としての収支で実質の温泉経営の実力を示した数値でありますが、実際の運営としては役場職員も体制の中に組み込まれており、実際の運営には役場職員1名に代わる従業員が必要となり、これらを考慮すると実質上の赤字額は更に増えることになります。

この結果から、これまでのような果汁が極端な品薄状況は解消されるものと考えておりますが、全体を見た場合には、まだまだの状態が続くものと考えております。

平成26年度におきましては、昨年度実績を上回るべく事業の伸展に取り組んで参ります。

しかし、昨今、花粉症対策の研究も各分野で進展しており、1月18日の朝日新聞デジタル版では、すき花粉症の根治が期待できる新薬が厚生労働省に承認された報道されています。

これは、舌下治療薬で「なめる」薬の承認は

国内初とのことです。この薬の公定価格が決まるのは4月の見込みで、保険診療が受けられるようになるのは6月以降とされています。

また、過日某テレビ局で放映された内容も同様なもので、免疫療法で舌下から花粉アレルギー物質を体内に吸収させ免疫力を高め1年程度で花粉症が治まるということであり、将来への大きな期待がされているというようないりました。

このように、これまでのじやばら販売戦略が「花粉症対策」をターゲットにした「じやばら生産・加工・販売」といった基本戦略を見直す時期にきているのではないかと感じているところです。

この課題につきましては、今後、議会共々検討を進めさせて頂きたいと考えております。

### ③ 観光筏事業について

観光の基幹である「北山川観光筏下り」についてであります。

平成25年度の観光筏の運航状況であります。筏運航日数は82日、運航筏数382乗り、総乗客数6,236人となっております。

今年度の運航につきましては、例年通り5月3日に観光筏開航式を行う事としております。引き続きの課題としては、何と言つても後継者を確保し観光筏の増便を図るとともに観光筏を安定的に運航存続させることであります。後継者につきましては、過去に幾度か新規採用を行い体制の確保に努めて参りましたが、中途退職等の問題もあり、平成26年度は、13名体制で運航することとしています。

しかし、観光筏を事業として定着させるためには、一日当たり8乗りの運航が理想であります。

このためにはまだ筏師の確保が必要であると考えており、できれば26年度に少なくとも1名の筏師養成を行いたいと考えており、検討を進めて参ります。

また、9月における平日の観光筏運航については、電源開発との協議の結果、現時点では環境省への協議を行つているとの報告を電源開発から受けており、9月における平日の運航は可能であるとの判断しているところです。

このように、関係近隣市町村とも連携をして促進協議会を設立し活動に取り組んで参りますので皆様のご協力をお願い申し上げる次第であります。

② 村内における国道169号の状況であります。既に皆様がご承知のとおり、和歌山県当局におきましても積極的に事業進捗を図つて頂いているところであります。

現在、竹原地区において工事等の事業が進められております。

## 6 社会基盤の整備

住民生活を支える社会基盤の整備促進

は、地域活性化を始めとして、住民の安全・安心を支える基本的な施設であります。このため、私たちも力を合わせて取り組んで行く事が重要であり皆様方のご支援をお願い申しあげます。次第であります。

### ① 道路等整備について

① 国道169号奥瀬道路Ⅱ期区間(5.2km)につきましては、平成27年の和歌山国体に併せて供用開始が出来るよう国の事業として積極的に事業を実施して頂いているところであります。

平成26年度予算としては、国土交通省から和歌山県側で14億から16億、奈良県側で13億から15億が必要となると聞いているところであります。

これに引き続き、奥瀬道路Ⅲ期区間(仮称)として、下尾井から小森を経由して小松に至る区間について新規事業の採択に向けて参ります。

今後は、関係近隣市町村とも連携をして促進協議会を設立し活動に取り組んで参りますので皆様のご協力をお願い申し上げる次第であります。

続々実施をして行くこととしております。

用地取得等の課題につきましては、北山村

としても積極的に出来うる対策を講じつて事業の促進に努力をして参る所存であります。

竹原工区以降の事業につきましても、必要な整備区間を時系列的に地域の要望として取りまとめて県当局等に働きかけて参りますのでご支援をお願い申し上げます。

(3) 近年の土砂災害等に対応した避難路や避難場所の在り方も重要な課題である考えおり総合的な防災対策道路等の整備が重要であります。

防災対策道路としての村道整備であります。が、これまで実施をしてきた下尾井地区・竹原地区に引き続き各区とも調整を図りつつ事業を進めて参ります。

## ② 簡易水道について

全体の改修計画については、平成23年度から工事に着手し、27年度までの5ヶ年間で全区間の改修を完了する予定としておりますが、関連する国道の工事の進捗等から若干の延期が必要になるのではと思つております。必要事業費をも含めて全体計画の変更をする必要があると考えております。

26年度は、村民会館・六水団地、小中学校下り相須、七色浄水場・配水池までの間の配管工事を推進するとともに、電気工事にも着手することとしています。

また、配水池等の耐震診断も実施して参ります。

## ③ 地籍調査について

地籍調査につきましては、平成10年度から事業に着手以来、調査計画に基づき計画的に調査を進めて参りました。

平地部については完了し、現在は山地部に着手しており、今年度は大沼湯ノ谷地区に着手して参ります。

今後、村内の未実施箇所につきましては、順次計画に従つて調査を進めて参ります。

## ④ 情報通信について

ICTの時代を迎える情報通信の技術を活用していくことは、これから地域戦略として大きなツールの一つであることは確かなことであると考えております。

「村ぶろ」の運営につきましては、実質的な運営を外部に委託する形で運営をして参りましたが、平成26年度からは役場直接の運営として参ります。

今後は、他地域との連携や地域活性化についての情報通信施策の在り方等について、観光、産業、行政など全体的な議論を行つて参りたいと考えているところであります。

## 7 環境負荷の軽減について

地球環境への負荷の軽減は、全世界を通じての大きな課題であります。

これまで北山村として、中学校へのソーラーの設置、役場屋上へのソーラーの設置、おくどろ温泉へのバイオマスボイラーセットの事業を行つて参りましたが、福島原発事故以来、再生利用可能なエネルギーの活用が大きくクロ一

ズアップされており、北山村におきましても国や県の施策を注視しつつ、地域資源や再生利用可能なエネルギーを活用した環境負荷低減対策に取り組んで参りたいと考えております。



以上、平成26年度に取り組むべき課題及び北山村として地域活性化と地域づくりの基本となる事項を含めて施政方針の説明とさせて頂きました。

# 平成26年度 当初予算説明

3月10日から開会の3月議会において、平成26年度の予算が可決・成立しましたので今年度の予算について、主要な事業と合わせながらご説明していきます。

まず、下の表が今年度の一般会計を大まかな項目に分けた「款(かん)別集計表」です。

**平成26年度 当初歳出予算款別集計表**

**一般会計**

(単位:千円)

区分 内訳	平成26年度		平成25年度		増減額 (C) A-B	増減率 (%) C/B
	予算額 (A)	構成比 (%)	予算額 (B)	構成比 (%)		
議会費	36,787	3.6%	35,371	4.1%	1,416	4.0%
総務費	194,400	19.2%	189,353	22.0%	5,047	2.7%
民生費	177,208	17.5%	154,807	17.9%	22,401	14.5%
衛生費	85,780	8.5%	81,518	9.4%	4,262	5.2%
農林水産業費	113,194	11.2%	74,504	8.6%	38,690	51.9%
商工費	12,573	1.2%	42,539	4.9%	-29,966	-70.4%
土木費	131,194	13.0%	71,211	8.3%	59,983	84.2%
消防費	52,621	5.2%	15,887	1.8%	36,734	231.2%
教育費	78,614	7.8%	58,813	6.8%	19,801	33.7%
公債費	126,066	12.5%	137,627	16.0%	-11,561	-8.4%
予備費	3,880	0.4%	1,000	0.1%	2,880	288.0%
合計	1,012,317	100%	862,630	100.0%	149,687	17.4%

今年度は、平成25年度と比べると、約1億5千万円歳出が増える予定となっています。一般会計と特別会計の合計予算額は18億2873万円で、昨年度比2億4129万2千円増額となります。一般会計を款別でみると増減率から、消防費、土木費、農林水産業費が増額となっており、土木・建築工事に伴う予算が計上された為です。以下に上記一般会計の新規事業の一部とその事業内容等をご紹介いたします。

## ○総務費:戸籍電算化費用 2500万円

これは、現在の「紙」の戸籍から「データ」つまりコンピューターで戸籍や除籍にかかる情報を管理するシステムの導入経費です。電算化をすることで、より確実な戸籍簿管理ができるほか、災害等による戸籍の焼失・滅失を防ぐことができます。電算化の具体的な時期は未定ですが、実施前には改めて皆様に広報いたします。

## ○土木費:村営住宅建設事業費 4003万1千円

村営住宅の新築にかかる経費です。建設予定地が現時点では決定していない為、完成時期や具体的な構造など未定ですが、平成26年度内での完成を目指しています。

## ○消防費:消火器全戸配布費用 145万8千円

北山村にお住いの全世帯へ初期消火のために消火器を配布いたします。平成26年度初旬での配布を目標としております。消火器の使用訓練の実施も計画しており、防火意識の向上を図ります。

## ○消防費:消防車庫及び防災倉庫建設事業費 2853万8千円

救急車や消防車用の新しい車庫と、防災倉庫を建設いたします。

## ○消防費:災害対策用品購入費 165万5千円

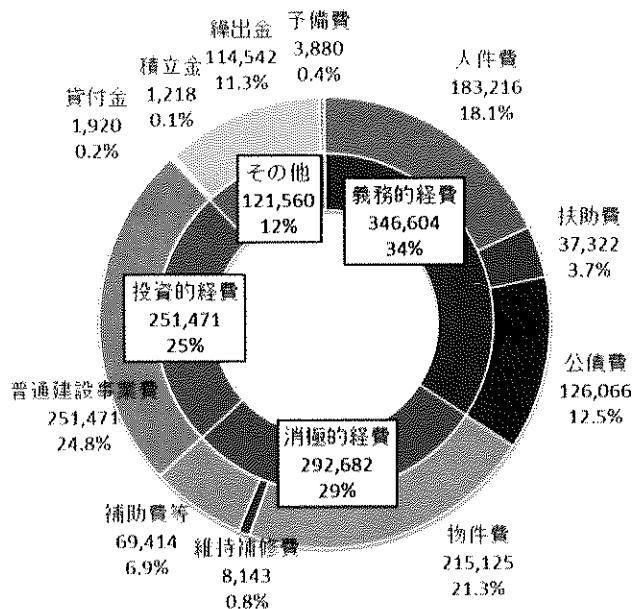
村内全避難所への災害対策用品の配備を目的とする予算です。ヘッドライトやスコップなど作業用具が主な内容で、土砂災害や地震被害の際の応急的な対応を想定しています。

## 平成26年度 当初予算性質別構成比(歳出)

## 一般会計

(単位:千円)

内訳 区分	平成26年度		平成25年度		増減額 (A-B) (C)	増減率 C/B (%)
	予算額 (A)	構成比 (%)	予算額 (B)	構成比 (%)		
義務的経費	人件費	183,216	18.1%	191,802	22.2%	-8,586 -4.5%
	扶助費	37,322	3.7%	36,957	4.3%	365 1.0%
	公債費	126,066	12.5%	137,627	16.0%	-11,561 -8.4%
	小計	346,604	34.2%	366,386	42.5%	-19,782 -5.4%
消極的経費	物件費	215,125	21.3%	168,129	19.5%	46,996 28.0%
	維持補修費	8,143	0.8%	6,702	0.8%	1,441 21.5%
	補助費等	69,414	6.9%	48,881	5.7%	20,533 42.0%
	小計	292,682	28.9%	223,712	25.9%	68,970 30.8%
投資的経費	普通建設事業費	251,471	24.8%	144,347	16.7%	107,124 74.2%
	災害復旧事業費					
	失業対策事業費					
	小計	251,471	24.8%	144,347	16.7%	107,124 74.2%
その他	積立金	1,218	0.1%	1,283	0.1%	-65 -5.1%
	投資及び出資金					
	貸付金	1,920	0.2%	1,920	0.2%	
	繰出金	114,542	11.3%	123,982	14.4%	-9,440 -7.6%
	前年度繰上充用金					
	予備費	3,880	0.4%	1,000	0.1%	
	小計	121,560	12.0%	128,185	14.9%	-6,625 -5.2%
合 計		1,012,317	100.0%	862,630	100.0%	149,687 17.4%



次に前ページの表を使用目的別に分類した表についてご説明いたします。

前年度と比較すると、人件費などの義務的経費が減少していることが見て取れます。同時に地方債などの返済費用も減額としています。

消極的経費、投資的経費は増額しており、とりわけ普通建設事業費は大きな増額となっておりますが、これらは建築工事や道路工事など事業実施にかかる経費です。

その他の経費の中では、繰出金が大きな額を占めています。これは一般会計から各特別会計へと繰出されるもので、各特別会計の歳入予算となります。

## 地方債の前年度末・今年度における現在高見込み集計表

(単位:千円)

区分	平成25年度末	平成26年度中増減見込		平成26年度末	平成26年度中
	現在高見込	平成26年度中 起債見込額	平成26年度中 元金償還見込額	現在高見込	増減額
公有林整備債	411		202	209	-202
地方道路整備事業	29,500		195	29,305	-195
過疎対策債	480,684	43,400	79,156	444,928	-35,756
一般公共債	2,854		2,854	0	-2,854
災害復旧債	10,435		909	9,526	-909
緊急防災・減災事業債	18,100			18,100	0
義務教育施設整備事業債	58,847		2,746	56,101	-2,746
防災対策事業債	14,982		2,052	12,930	-2,052
減税補てん債	714		138	576	-138
臨時税収補てん債	773		188	585	-188
臨時財政対策債	444,903	30,000	25,495	449,408	4,505
一般会計合計	1,062,203	73,400	113,935	1,021,668	-40,535
簡易水道特別会計	201,200	72,000		273,200	72,000
地域振興特別会計	140,000	30,000	3,736	166,264	26,264
特別会計合計	341,200	102,000	3,736	439,464	98,264
合計	1,403,403	175,400	117,671	1,461,132	57,729

上記表は、北山村の村債の借入状況を示す表です。一般会計においては、平成26年度中は7340万円の借入を予定しています。返済については、1億1393万5千円を計画しています。

平成26年1月末人口は471人であることから、村民1人当たりの負債額は3,102千円となります。

村債の借入・返済は歳入・歳出でも大きな割合を占めております。下表は平成26年度の歳入を性質別に見た表となります。依存財源中の村債は歳入全体の7%強、村税の歳入構成比よりも高い割合を占めています。また、地方交付税は、前年より500万円弱減額の予定です。

## 平成26年度 当初予算性質別構成比(歳入)

## 一般会計

(単位:千円)

自主財源	平成26年度		依存財源	平成26年度	
	予算額	構成比		予算額	構成比
村税	65,577	6.5%	地方譲与税	7,801	0.8%
分担金負担金	696	0.1%	利子割交付金	180	0.0%
使用料及び手数料	11,311	1.1%	配当割交付金	140	0.0%
財産収入	1,327	0.1%	株式譲渡所得割交付金	25	0.0%
寄付金	351	0.0%	地方消費税交付金	5,600	0.6%
繰入金	138,420	13.7%	自動車取得税交付金	1,495	0.1%
繰越金	20,000	2.0%	地方特例交付金	0	0.0%
諸収入	13,118	1.3%	地方交付税	551,254	54.5%
			国庫支出金	52,157	5.2%
			県支出金	69,465	6.9%
			村債	73,400	7.3%
自主財源 合計	250,800	24.8%	依存財源 合計	761,517	75.2%
総合計				1,012,317	



## …最近の北山村での出来事を紹介します!

### ☆ 平成26年成人式



平成26年1月3日、成人式が北山村民会館で執り行われました。

今年新成人になられた方は、広報1月号でもご紹介したとおり以下の5名の方です。(写真左から)

尾中菜月さん

久保直也さん

中康行さん

中瀬古大さん

南貴恵さん

新成人を代表して尾中菜月さんが「本日を契機として心を引き締め、新しい人生の第一歩に向けて力強く歩き出します。」と謝辞を述べました。

### ☆ 筏師の道ウォーク

3月9日(日)第3回目の開催となる筏師の道ウォークが行われました。参加者は村内外から35名おり、開催日は天候にも恵まれ「筏師の歴史ロマンをたどる旅」を満喫することができました。

このツアーは、もともと筏師が新宮から北山村に戻る帰路を「筏師の道」と呼び、その足跡を再現したものです。当日は、現役筏師をガイドに、旧熊野川町鳴津地区の川岸や森などを歩きながら瀧峡を目指す行路でした。ゴールとなる瀧峡には高さ25m、長さ83mもの吊橋があり、今ツアーのメインスポットのひとつです。

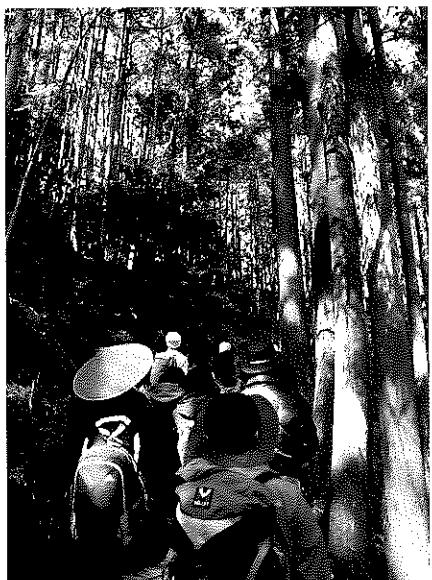
また参加者には、めはり寿司の入った特製筏師弁当が配られ、自然に囲まれた北山川を眺めながら昼食を楽しみました。

平成24年に和歌山県による「プレミア和歌山」に推奨され、再注目されている観光筏下りですが、今年に入り古来より継承されてきた高い技術が、北山村指定無形文化財として指定しております。

北山村の名物である、観光筏下り・じゃばらを今後も様々な形でPRしていくたいと考えています。



尾根道(遊歩道)を歩く風景(右上)  
特製筏師弁当(左下)  
瀧峡吊橋(右下)





## 北山村での日々

平成22年4月1日に北山警察官駐在所へ赴任して早4年となりました。

その間、台風12号の来襲を経験しましたが、他に大きな事件・事故の発生も見ず、これも村民の皆様の協力・支えがあってこそと家内共々感謝している次第です。

私が4年間で撮影した村民の写真は数千枚を数え、村関連の新聞記事の切り抜き(スクラップ)もノート5冊になりました。

料理好きの妻も、じやはらの「すっぱいパン」や「じやはらケーキ」を作ったり、塩麹を使用した鹿・猪肉料理を開発したりと、村での生活を満喫させていただきました。

日々、村内をパトロールして皆さんと話し合い、笑い合いました。

また敬老会ではカラオケを披露したりと、村での楽しい思い出は一生忘れることが出来ない事でしょう。みなさん、ありがとうございました。

新宮警察署北山警察官駐在所 玉置 光一



## 村長よりお礼の言葉

平成22年4月の着任以来、玉置様には4年間の長きにわたり大変お世話になり有り難うございました。

小中学校生の登校見守り、防犯パトロールなど村民の安全・安心に多大なるご努力をいただきました。また、各種行事にも奥様ともども積極的にご参加していただき、村民との交流にも努めていただきました。思い起こせばきりがないほど多くの出来事がありました。

改めて、心から厚くお礼を申し上げます。

逢うは別れの始めといいますが、年月の経つのは早く、つらい別れの時がやってまいりました。しかし、いつまでも悲しんでいるのではなく、出会った事の想い出を大切に、これからを歩んでいかなければと思います。

玉置様ご夫妻の益々のご健勝ご多幸をお祈り申し上げましてお礼の言葉といたします。

## お知らせ

国年通信

国民年金保険料は  
口座振替がお得です

「平成26年度の国民年金保険料は、月額15,250円となりました。」

国民年金保険料の納付には、口座振替をご利用になれます。口座振替をご利用いただくと、保険料が自動的に引き落とされるので金融機関などに行く手間が省けるうえ、納め忘れもなく、とても便利です。

また、口座振替には、当月分保険料を当月末に振替納付することにより、月々50円割引される早割制度や、現金納付よりも割引額が多い6ヶ月前納・1年度前納・2年前納もあり、大変お得です。

国民年金保険料口座振替納付申出書の用紙は役場にありますので、口座振替をご希望の方は、納付書または年金手帳、通帳、金融機関届出印を持参のうえ、ご希望の金融機関または年金事務所へお申し出ください。

詳しくは国民年金保険料専用ダイヤル（0570-0111-0500）または田辺年金事務所（0739-240432）へお問い合わせください。

## 村税のお知らせ

## ◎個人住民税（村県民税）

平成26年度から10年間、村県合わせて1,000円が引き上げられます。

これは、東日本大震災に関連して、防災に係る事業等に充てるために特別にお願いするものです。納税者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## ◎固定資産税及び軽自動車税

これまで4月末の納期限（固定資産税は第1期）であつたものが、平成26年度から5月末の納期限に変更されます。

どちらも納税通知書を受け取つてから長くはなりますが、税全般についてお願いとして、村税は各期納期限厳守で納めています。また、軽自動車については消費税増税に伴い買い替え等も計画されている方もあろうかと思いますが、登録は「和歌山ナンバーでされますよう宜しくお願ひいたします。

## 防衛省・自衛隊和歌山地方協力本部からのお知らせ

自衛隊和歌山地方協力本部では下記の自衛官等募集受付を行っています。

募集科目	対象者	受付期間	内 容
陸海空幹部候補生	22歳以上26歳未満（20歳以上22歳未満の者は大卒（見込含）、修士課程修了者等は28歳未満）	26年2月1日～4月25日	陸海空自衛隊の幹部候補生として採用され、約1年の教育を経て幹部自衛官として勤務します。
自衛官候補生	18歳以上27歳未満	年間を通じ受付	又は民間就職について選択できます。

問合せ先：自衛隊和歌山地方協力本部 新宮地域事務所（新宮市五新1-24）  
TEL・FAX 0735-21-3449

## 国民健康保険 被保険者の方へ

平成26年4月から70～74歳の方の医療費の自己負担割合が変わります。

70～74歳の方の医療機関での窓口負担（自己負担）割合は、法律上2割となっていましたが、これまでの特例措置により1割で運用されていましたが、平成26年度から、国の方針により、この特例措置がみなおされることとなりました。

見直しに当たっては、高齢者の生活に大きな影響が生じることの無い様、平成26年4月2日以降70歳の誕生日を迎える方から段階的に実施されることとなりました。

### ■誕生日が昭和19年4月2日以降の方

70歳の誕生日の翌月（ただし、1日が誕生日の方はその月）の診療から、窓口負担割合が2割になります。但し、一定の所得がある方は3割負担になります。

### ■誕生日が昭和19年4月1日までの方

平成26年4月以降も医療費の窓口負担割合は1割のまま変わりません。但し、一定の所得がある方は3割負担になります。

※一定の所得がある方（現役並み所得者）とは、同一世帯に、住民税課税所得が145万円以上の70歳以上75歳未満の国保被保険者の居る世帯を言います。

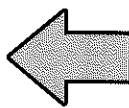
### 厚生労働省から注意喚起

「臨時福祉給付金（簡素な給付措置）」や「子育て世帯臨時特例給付金」の振り込め詐欺や個人情報の榨取にご注意ください。

消費税率の引き上げに際し、「臨時福祉給付金（簡素な給付措置）」・「子育て世帯臨時特例給付金」が支給されることが決まっておりますが、住民の皆様からの申請を受け付ける段階ではありません。

そのため：

「臨時福祉給付金（簡素な給付措置）」「子育て世帯臨時特例給付金」に関して



- 村や厚生労働省などがATM（現金自動支払機）の操作をお願いすることは、絶対にありません。

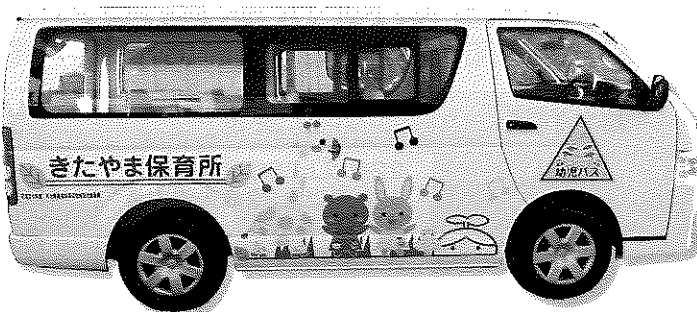
- ATMを自分で操作して、他人からお金を取り込んでもらうことは絶対にできません。

- 村や厚生労働省などが給付金を支給するために、手数料などの振込を求めるることは絶対にありません。

- 現時点で、村や厚生労働省などが住民の皆様の世帯構成や銀行口座の番号などの個人情報をお聞きすることは、絶対にありません。

ご自宅や職場などに村や厚生労働省（の職員）などをかたつた電話がかかってきたり、郵便が届いたら、迷わず、役場や警察署などにご連絡ください。

### きたやま保育所バスが走っています



きたやま保育所に専用バスが導入されました。

これまで保育所用の車はありませんでしたが、この専用バスは写真の様に、座席も子供サイズのものとなっております。これは、水力発電施設周辺地域交付金事業で整備しました。

## 防災情報通信

## 新しい消防車が北山村にやってきました

これは、大阪府泉南市（向井通彦市長）から寄贈していただいたものです。泉南市消防団新家分団に配備されていた消防車の買い替えに伴い、1月20日に村長、中瀬古消防団長と共に泉南市を訪問し、北山村へと引越しをしました。

この車両は、今まで北山村には無いタイプの、消防ポンプ車というものです。従来よりも高い放水能力をもっており、平成10年式ながら、とても手入れがされています。これからは、皆様の安全・安心を守る大きな一助となります。



## 防災備蓄倉庫 2基新設

これまで、七色・竹原にのみ設置していた防災備蓄倉庫を、大沼・下尾井各区民会館へも新設いたしました。これは平成25年度の和歌山県の補助事業により設置したものです。

今年度からは、さらなる防災力向上に向け、防災備蓄倉庫の有効利用を推進していく計画で、災害発生時の復旧活動などで使用することを目的とした物資の整備などをしていきたいと考えています。

## 平成26年消防出初式

1月4日、おくどろ公園グラウンドにて、新春を飾る消防出初式が挙行されました。昨年末の火災予防警戒など団員は防火啓発に努め、平成25年中も火災件数ゼロで出初式を迎えており、住民の方の高い防火意識が伺えます。消防団・消防隊とともに平成26年も火災予防運動や訓練などに励んでまいります。

（本文は、北山村消防団によるもの）

## 消防団員を募集

北山村消防団では、団員を募集しております。入団は、随時受付中で北山村に居住する年齢18歳以上で健康な方であれば**男性・女性**を問わずどなたでも入団できます。

消防団は、消防署と同じように法律に基づき設置される消防機関です。火災や自然災害など有事の際の活動、平時の予防・防災活動の普及などが仕事です。地域の消防力向上にぜひご協力ください！



# 健康講座

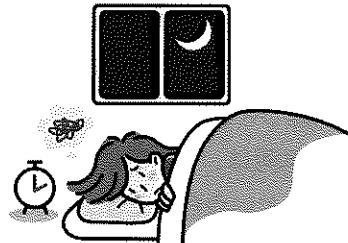
4月号

今回のテーマは!  
「うつ病」と「脳卒中」について

寝たいけど眠れない…

## 「不眠」と「うつ病」の深い関わり

よく眠れないと言う人が注意してほしいのが、「不眠」と「うつ病」との関わりが非常に深いということです。うつ病は近年日本でも急増しており、自分でもなかなか気づかず、知らないうちに症状が進行してしまうケースも少なくありません。



実は、うつ病患者の9割に不眠症状が見られたという統計があります。もし不眠が2週間以上続くようであれば、それはうつ病のサインかも知れません。かかりつけ医師に相談してみましょう。

## 不眠治療と睡眠薬

不眠の治療には、睡眠薬が処方されることがあります。中には「薬を飲まないと疲れなくなるのでは?」と心配する人がいますが、現在の睡眠薬は進歩しており、副作用や依存性の心配は非常に少なくなっています。

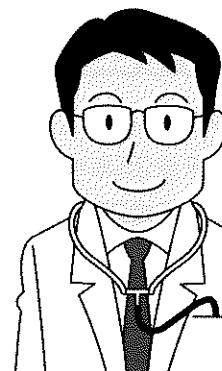
うつ病は、適切な治療を受けて、しっかりと休養をとれば治すことができる病気です。もし、あなたの周りにうつ病ではないかと思われる人がいたら、早めに医療機関を受診するよう勧めてあげてください。



つづいて、普段よく耳にする「脳卒中」について  
診療所の宮本先生に教えてもらいました。

### Q1：脳卒中ってどんな病気？

頭の血管が詰まったり（脳梗塞）、破れたり（脳出血、くも膜下出血）する病気です。死因としてはガン、心臓病に次いで3番目に多く、寝つきりになる原因としては1番です。



### 脳卒中3つのチェックポイント

顔がゆがむ

片手が上がらない

言葉がもつれる

どれかが急に出てきたら  
すぐに救急車を!!

### Q2：どんな症状があるの？

顔がゆがむ、片手が上がらない、言葉がもつれるなど、右の図のような特徴的な症状があります。

脳卒中はできるだけ早く治療を受けることで後遺症が軽くなることもあります。これらの症状が「突然」出てきたら脳卒中の疑いがありますので、ためらわずにすぐには救急車を呼びましょう。

### Q3：予防はどうすれば良いの？

脳卒中は血管の病気です。生活習慣病（高血圧など）や喫煙が長く続くと血管が傷んで脳卒中の原因となることがあります。

予防に大切なのは、健康的な食生活と適度な運動、タバコは吸わないという事です。もちろん薬を飲んでいる方は主治医と相談して続けていくようにしましょう。

近年、人の錯覚を利用した体験型のトリックアートやゲームなどが登場して話題になつていて。壁や床に描いた絵が立体的に見える3D(3次元)のアートなども人気があるようだ。

近年の認知科学への関心の高まりをうけて研究が進み、交通事故防止などの日々の暮らしにも応用され始めている。という新聞記事が日にとまつた。

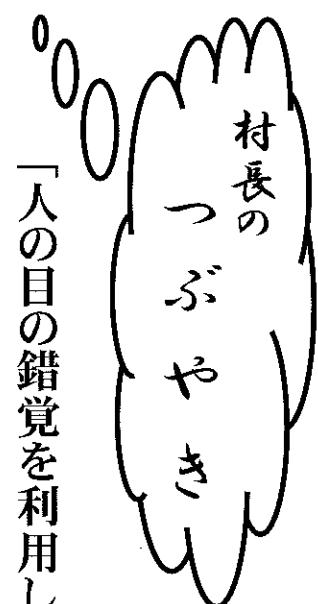
静岡市の市道に昨年末にできた横断歩道は、歩行者側から見れば普通の横断歩道であるが、運転席からは、平面が盛り上がり上がって見えたり、縞模様が浮き上がつて見えるようだ。

歩行者がいないときでも車は、止まつたり減速したりするということである。この横断歩道は、事故防止を目的に、運転者の注意を喚起する全国初の横断歩道であると静岡県警は話している。



静岡市の市道に設置された浮き上がって見える横断歩道

「人の目の錯覚を利用した横断歩道」



第7回



## 4月号 表紙のご紹介

今号の表紙は四の川でのアマゴ釣りと、山・川・空の景色とさせていただきました。

3月1日からの解禁以降、釣りの話題も多く、おくとろ温泉などでも釣りの話をしておられる方を見かけます。たくさんの方が釣りを目的に北山村に足を運んでいるように感じます。北山村の桜は、少しづかち咲くのが遅いですが、各地で大雪が降った2月と比べると、春が来たと感じていただければ幸いです。

もう一つの理由としまして、これまで平成25年度発行の表紙はすべて北山村の自然をテーマとしてきたという事です。北山村の自然を上手く表現できていたか分かりませんが、平成26年度も「広報きたやま」をよろしくお願ひいたします。

また、玉置駐在さんをはじめ誌面で使用させていただいた写真を提供してくださった方にこの場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。



# ご卒業おめでとうございます

池上 いけがみ  
三浦 みうら  
智稀 ともき  
安藤 安藤有芽子さん  
迫谷 美華さん  
溪さん ひろいが  
久堀 中西 下村  
日向さん 起葉さん

## 卒業生のご紹介 (右から)

ほしごです。  
ご卒業おめでとうございます。

1週間のシンガポールへの修学旅行をはじめ、村民運動会やクラブ活動などが多く上がりました。なかでも修学旅行は海外旅行というなかなか体験できない事であつた為に、大きな思い出となつてゐるようです。北山村なりではの特色のある取組みが、生徒たちの心に残つてくれて嬉しく思います。

今までお世話になつた先生やクラスメイト、父兄の方、地域の方への感謝の気持ちを述べてゐる姿に、生徒たちの成長を感じ頼もしく思ひます。これからも感謝の気持ちを大切に、新しいステージでも頑張つていってほしごです。

今年も北山中学校で卒業式が執り行われ、7名の生徒が北山中学校を卒業しました。卒業生の皆さんは、それぞれ進学をするのですが、村外の大きな学校へ通い、環境が変わる事への不安とともに、新しい友人や部活動、自分の興味のある分野や夢に向かって進んでいく事が楽しみで、頑張つていただきたいと話してくれました。

北山中学校での思い出を尋ねたところ、

(平成26年3月1日現在)  
人口 472人(+2)  
男 221人(+2)  
女 251人(±0)  
世帯数 271戸(+1)

※( )内は前号比

## 村の人口

◇発行

北山村役場 総務課

〒647-1603

和歌山県東牟婁郡北山村大字大沼 42

電話 0735-49-2331

Fax 0735-49-2207

◇北山村ホームページ

<http://www.vill.kitayama.wakayama.jp/>